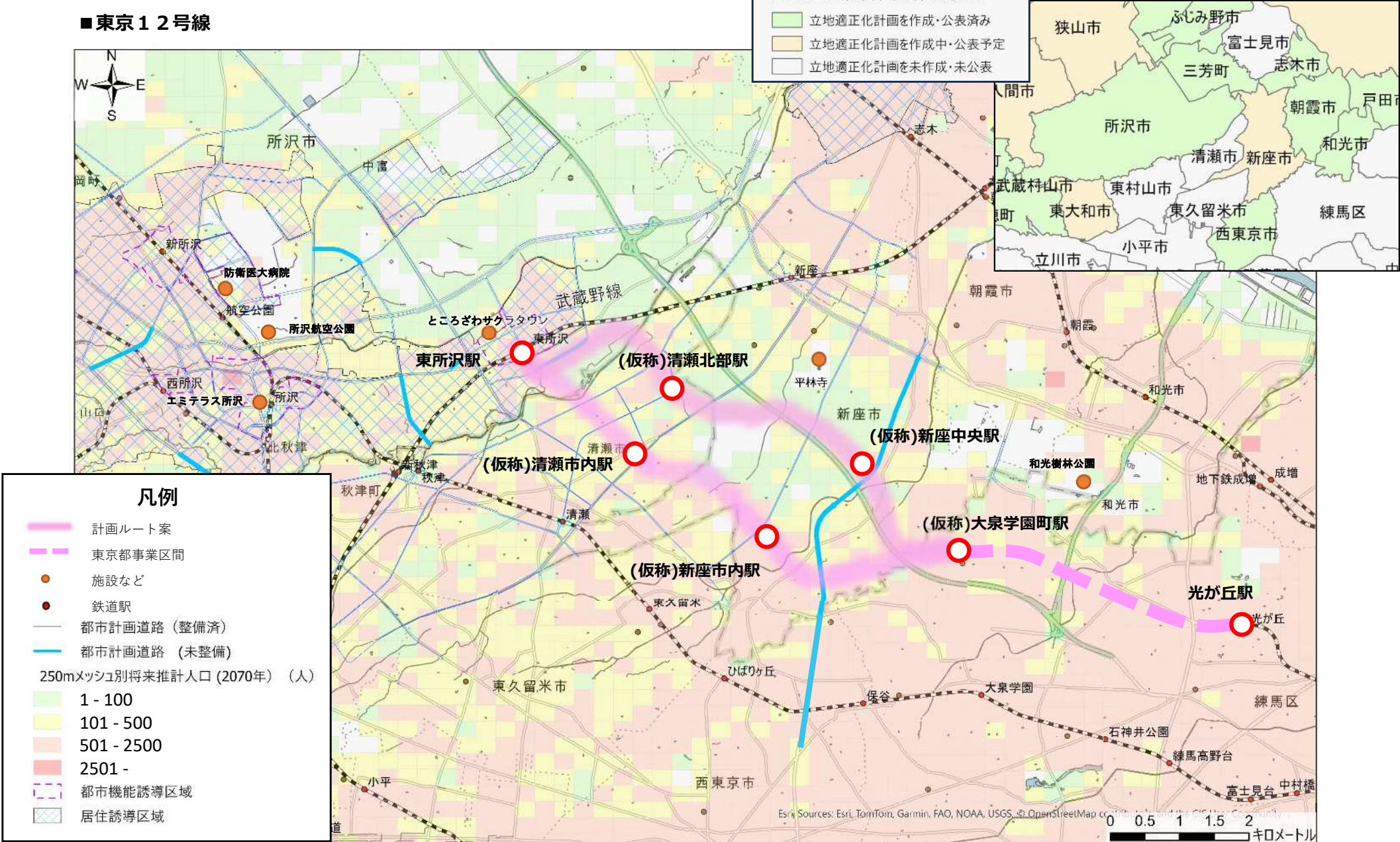


1. 延伸想定地域の将来の状況

1-1 人口密度（2070年）と都市計画道路、居住誘導地域の状況（東京12号線）

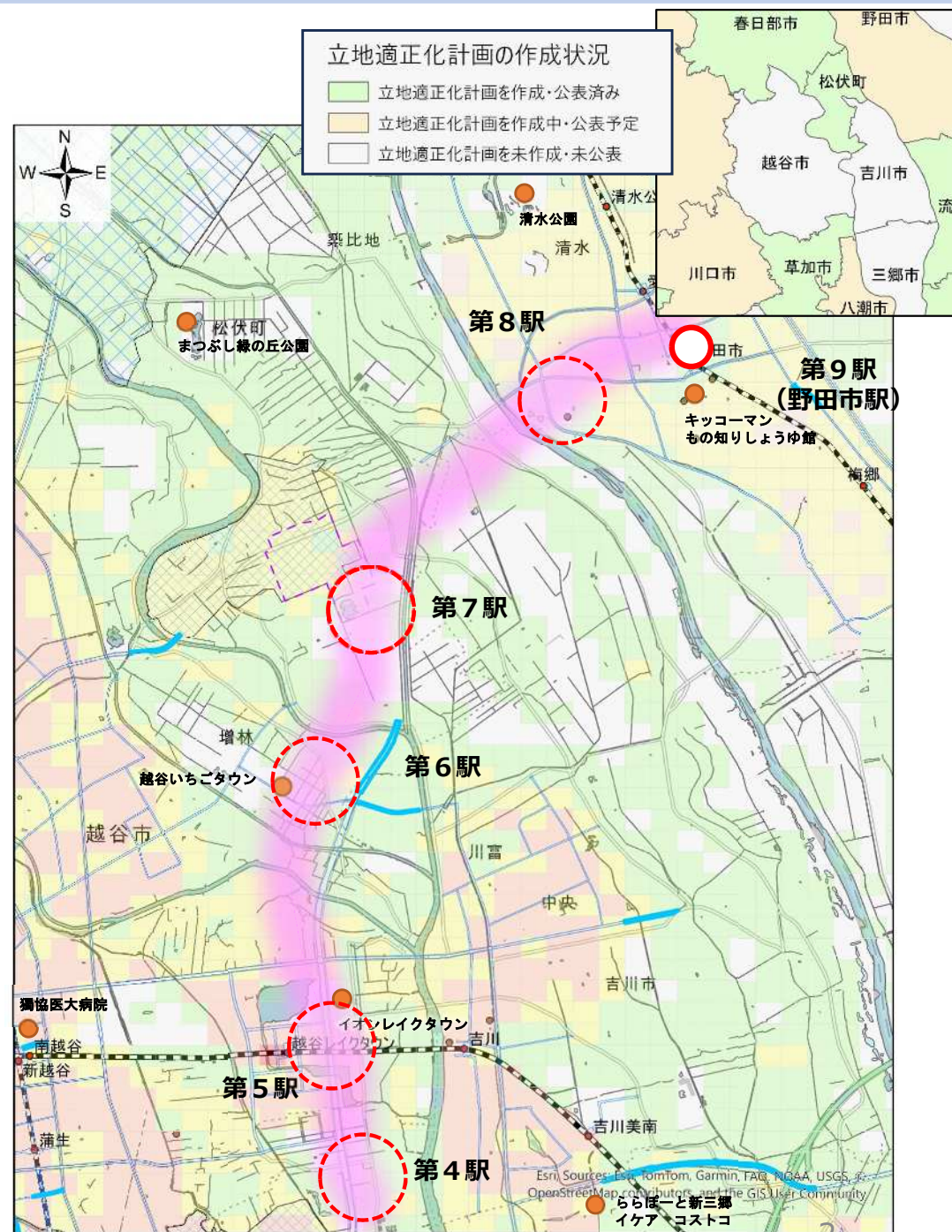


（【出典】人口メッシュ：国政局「250mメッシュ別将来推計人口データ」
延伸ルート案：新座市都市高速鉄道12号線延促進期成同盟会「都市高速鉄道12号線延伸に向けた基礎調査【報告書】」（北側案の駅位置は基本ルートのみを記載）

1. 延伸想定地域の将来の状況

1-2 人口密度（2070年）と都市計画道路、居住誘導地域の状況（東京8号線）

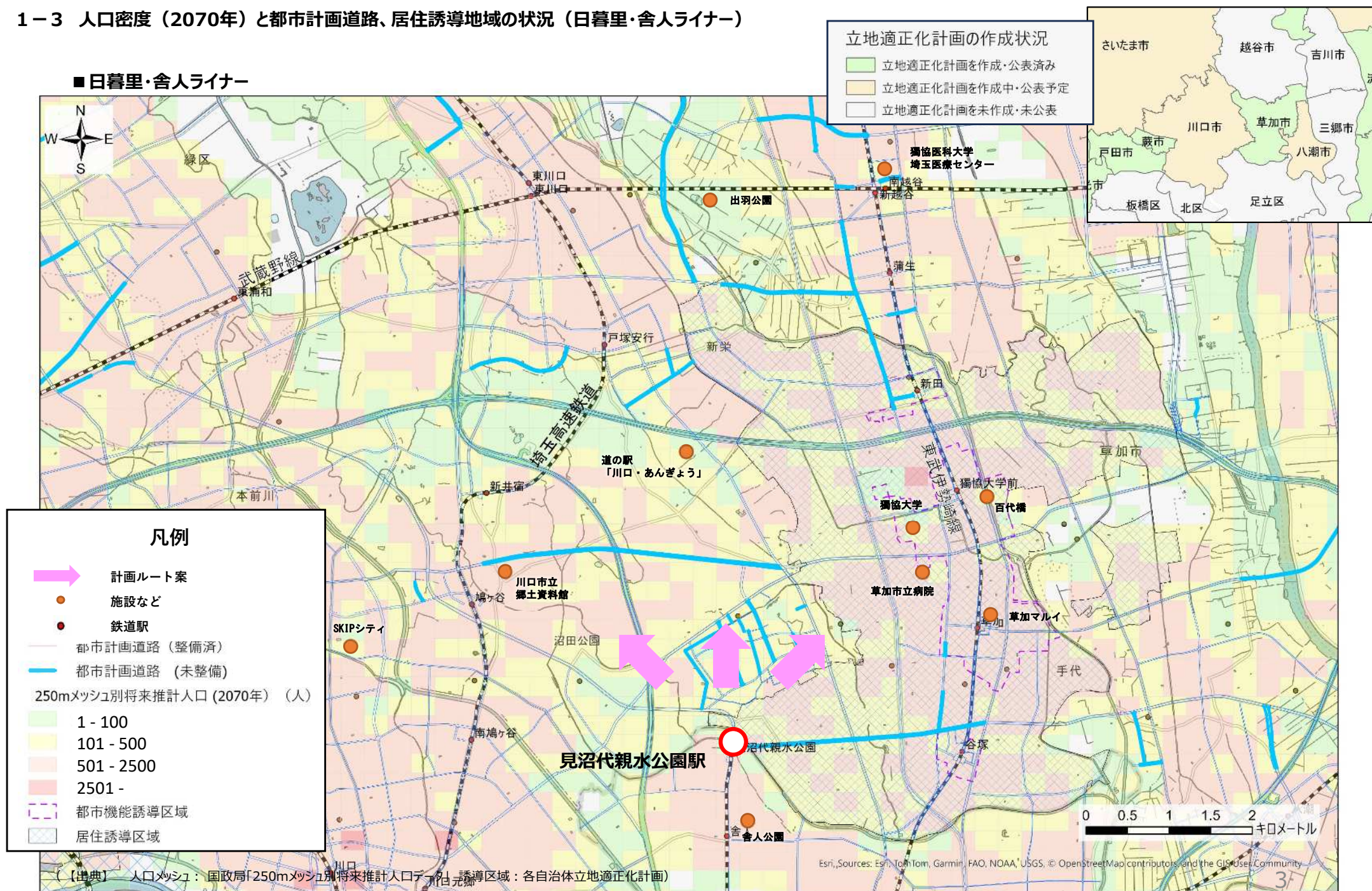
■東京8号線



(【出典】 人口メッシュ：国政局「250mメッシュ別将来推計人口データ」
誘導区域：各自治体立地適正化計画より延伸ルート案：令和7年6月期成同盟会報告書より)

1. 延伸想定地域の将来の状況

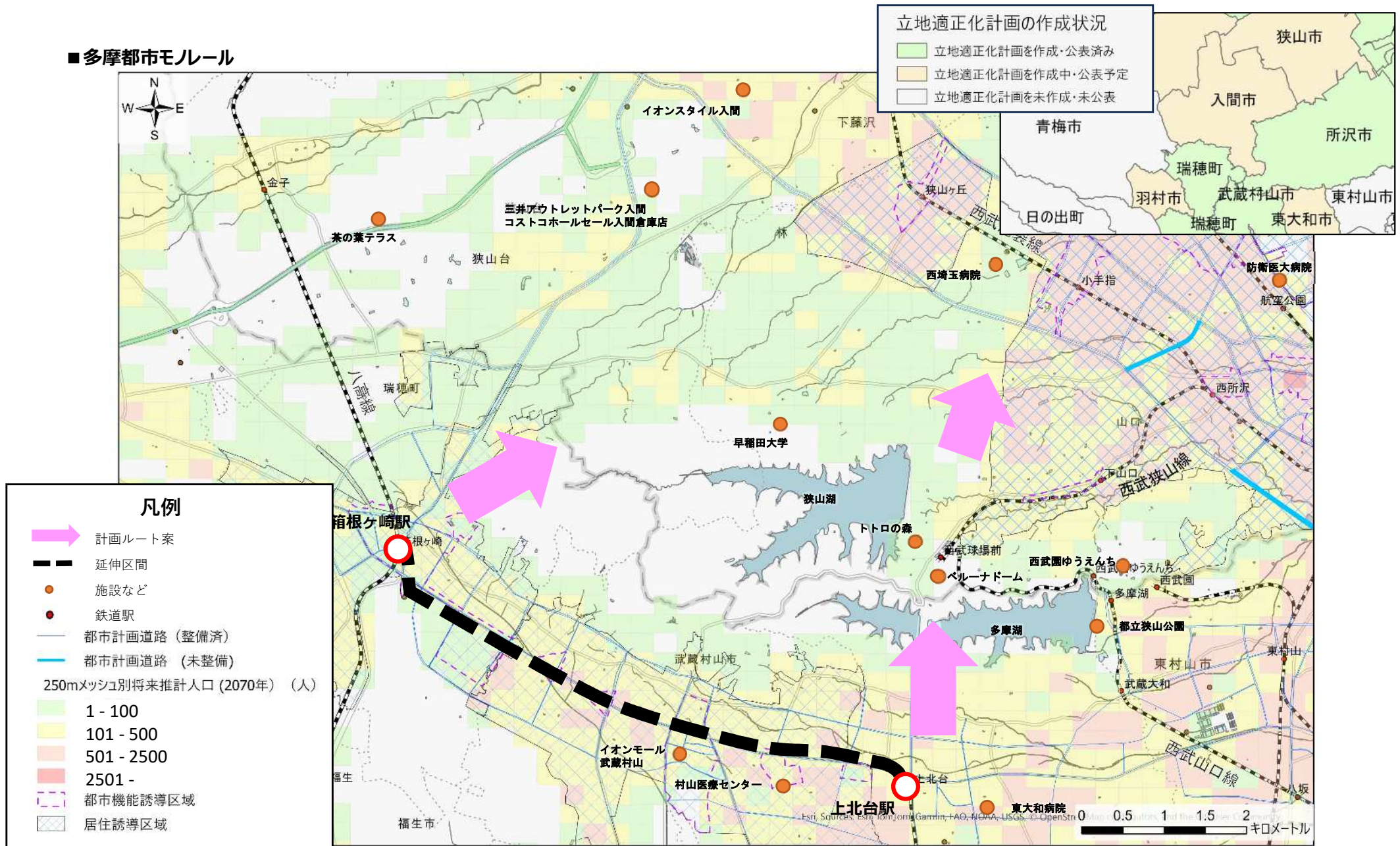
1-3 人口密度（2070年）と都市計画道路、居住誘導地域の状況（日暮里・舎人ライナー）



1. 延伸想定地域の将来の状況

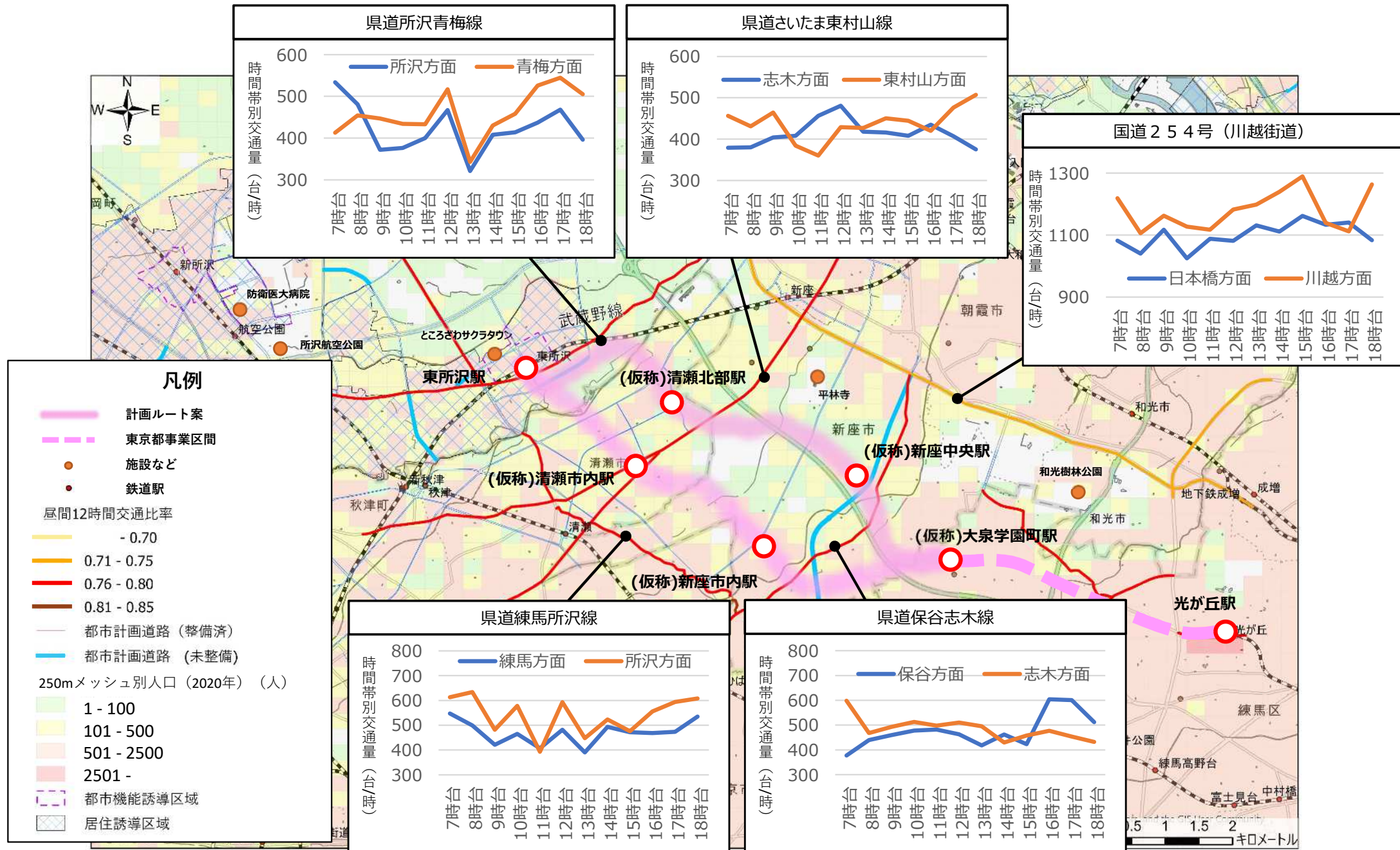
1-4 人口密度（2070年）と都市計画道路、居住誘導地域の状況（多摩都市モノレール）

■多摩都市モノレール



（【出典】 人口メッシュ：国政局「250mメッシュ別将来推計人口データ」 誘導区域：各自治体立地適正化計画）

2. 東京12号線周辺道路の時間帯別交通量



〔【出典】人口メッシュ：総務省「令和2年国勢調査」 昼間12時間交通比率：国土交通省「令和3年度全国道路・街路交通情勢調査」 誘導区域：各自治体の「立地適正化計画」 延伸ルート案：新座市都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会「都市高速鉄道12号線延伸に向けた基礎調査〔報告書〕」 (北側案の駅位置は基本ルートのみを記載)

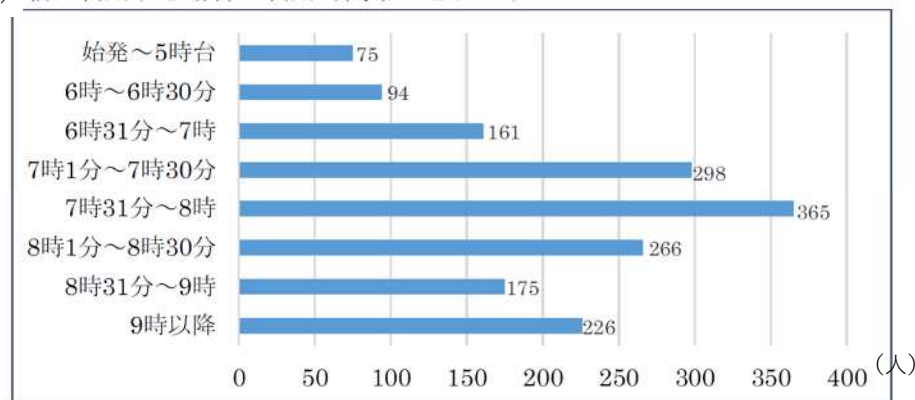
3 日暮里・舎人ライナー利用者の実態調査

3. 1 実施概要

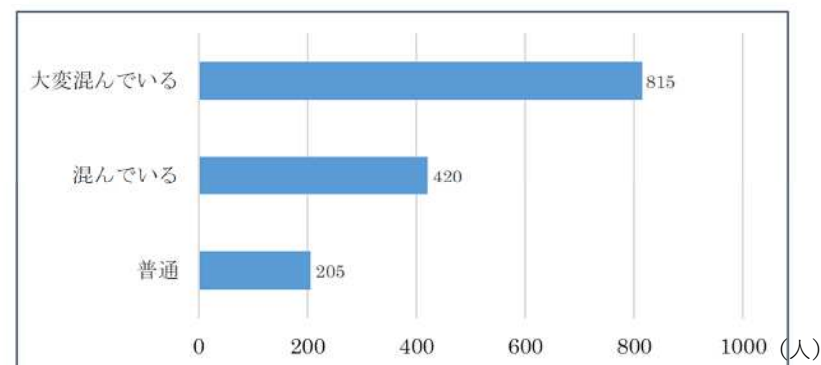
- (1) 実施時期：配布日 令和2年1月30日(木)、31日(金)、2月3日(月)、回収日 2月14日(金)まで
- (2) 配布方法：沿線区営自転車駐車場13か所で利用者に配布、沿線マンション等のポストへ投函、区内9駅での配布
- (3) 配布数及び回答数：配布数 6,650件、回答数 1,444件、回答率 21.7%

3. 2 調査結果（抜粋）

(1) 朝に利用する場合の利用時間帯はどれですか？



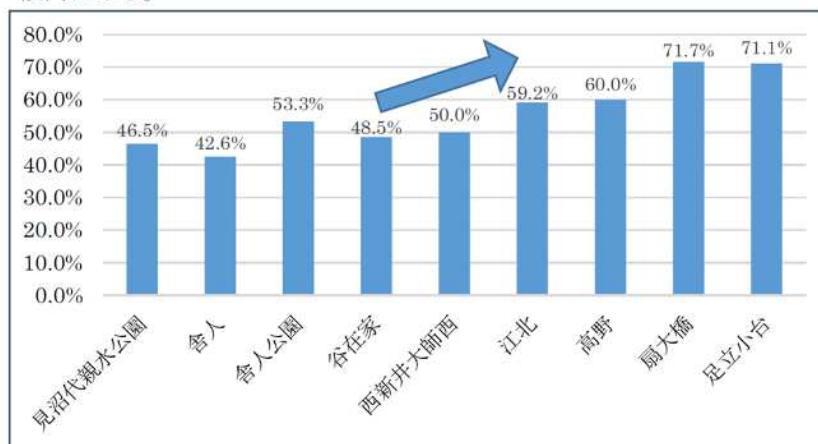
(2) 朝に利用する場合、乗車する電車の混雑具合はどう感じますか？



3. 3 分析結果（抜粋）

(1) 「大変混んでいる」と思う人の利用駅

足立小台駅に向かうにつれ、「大変混んでいる」と思う人の割合が増加する傾向にある。



(2) 「大変混んでいる」と思う人が乗車している時間帯（時間帯別）

7時から8時30分までの間では7割以上の方が「大変混んでいる」と思っている。

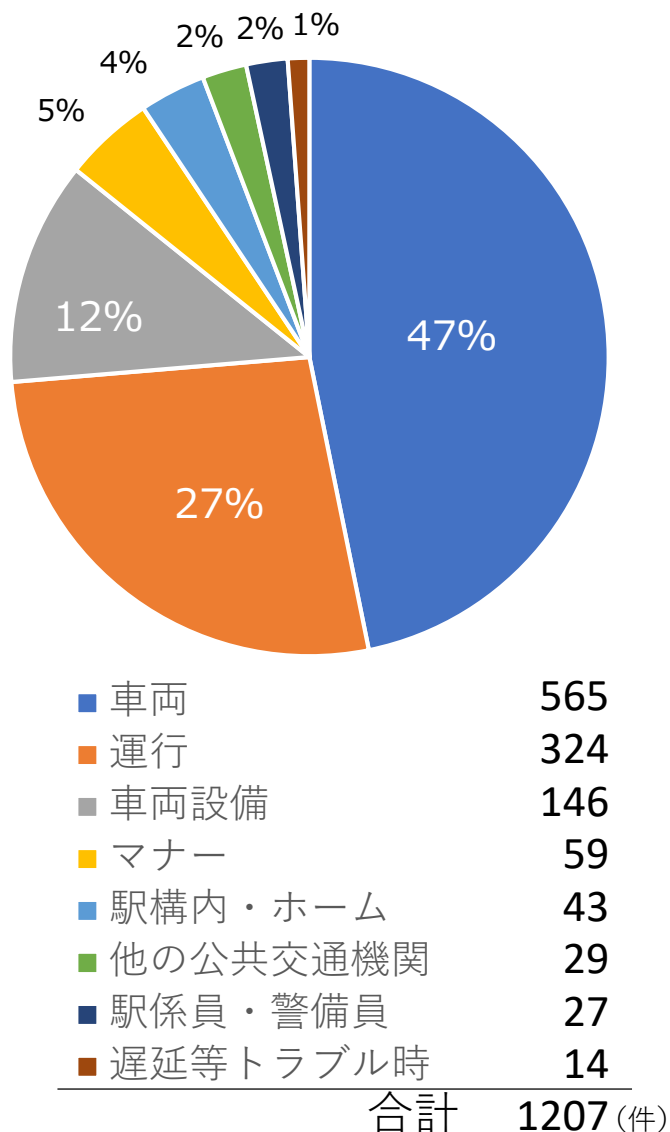


【出典】 令和2年4月22日 足立区 交通網・都市基盤整備調査特別委員会 資料

3 日暮里・舎人ライナー利用者の実態調査

3. 4 日暮里・舎人ライナーに関する自由意見（一部抜粋）

利用者の声の項目別件数



利用者の声のうち、路線や混雑に関する意見を抜粋

(1) 車両について

- なるべく早期にロングシートの新型車両を全車で導入して頂きたい。
- 5両編成を6両編成にしてほしい。
- 山手線のようにラッシュ時には座席をなくすなどして、より多くの人に乗車できるようにしてほしい。

(2) 運行について

- 7:00～8:00くらいまで、2、3分に1本は来てほしい。
- 朝のラッシュ時、途中駅から始発発車を走らせるなどして、人の多さを分散できるようにしてほしい。
- 急行が出来ると便利で混雑も減ると思います。
- 停車時間を少し短かくして本数を増やしてほしい。

(3) 駅構内・ホームについて

- 将来を見越してホームの拡張（車両増設）をしてほしい。

(4) 他の公共機関について

- 同じ路線を走っているバスも利用できる共通定期があれば、気軽にバスを利用できると思います。

参考：第4回会議で出された意見に対する対応

第4回会議での意見	対応	資料 番号
通勤時間帯に道路混雑がどうなっているのかは地域にとって非常に重要。日中の道路交通量が卓越しているとか、通勤時間の道路混雑が半端ではないとかによって様々な整備効果も見えてくるので、時間帯ごとの情報があれば確認すべき。	時間帯別の混雑度の資料を作成。	2
鉄道の延伸を考えていく中で、何年か先と、その時の道路の状況というのを合わせて議論しなくてはならない。将来道路網のネットワークの検討と、その時の交通量調査などのデータを見ながら議論したい。 人口の状況に公共交通の観点も併せて時間軸で想像し、考える。	将来（2070年）の人口推計による人口密度、計画中の都市計画道路居住誘導地域を重ね合わせた図を作成。	1
時代による交通利便性の変化を把握するためにも、特にこの延伸ルートの周辺、ちょっと離れたところも含めてバス本数の時系列の変化がわかるとよい。	バスルートについては平成30年度に国土交通省が公表したデータが最初のものであり、時系列の変化がわかるデータはない。	—
実態としての人口密度に加え、今後の変化を考えると、まちづくりの方でどういうビジョンを描いているのかということを2つ重ねて見ていくべき	将来（2070年）の人口推計による人口密度、計画中の都市計画道路居住誘導地域を重ね合わせた図を作成。	1
立地適正化計画や居住誘導区域については、策定中の自治体も含め、確認しておくべき。あとそもそも区域に入っていないところについて、駅ができたときに線引きし直す地域などの整理が必要	各路線の沿線自治体の立地適正化計画作成状況を示す図を作成。	1
日暮里・舎人ライナーの延伸元の沿線の方達の日常生活や移動に関する満足度調査を行っていれば結果を示すこと。どんな声があるのか、普段どの街に行くのか、そこへの移動が不便だとか不便でないとか、生活圏にどこがあるなどがわかるとよい。	日暮里・舎人ライナーの利用者アンケートのデータを活用。	3